

本リリースは、米国 Workday Inc. が 2019 年 5 月 16 日 (現地時間) に配信した英文リリースに基づき作成した日本語抄訳です。その内容および解釈については、英文が優先されます。



報道関係各位

Workday, Inc.

Workday、ガートナー社マジック・クアドラントの「中堅・大企業、グローバル企業向けクラウドコア財務管理スイート部門」でリーダーに位置づけられる

3年連続でリーダーに選出

[2019年5月16日(現地時間)-米国発] 企業向けクラウド型財務、人事アプリケーションプロバイダ大手の [Workday, Inc.](#) (本社: 米国カリフォルニア州プレザントン、NASDAQ: WDAY、以下 Workday) は米国時間 5 月 16 日、米国大手調査会社ガートナー社が発行するレポート「マジック・クアドラント」の「[中堅・大企業、グローバル企業を対象としたクラウドコア財務管理スイート分野¹のマジック・クアドラント](#)」において「リーダー」に位置づけられたことを発表しました。Workday は同分野において、3年連続でリーダーとして選出されています。

現在、企業は規模の拡大や優秀な人材の獲得、複雑な法規制への対応といった需要の高まりに直面しています。こうした需要が高まるにつれて、企業全体の計画、実行、分析の全てをひとつのシステムで実行でき、機械学習のテクノロジーを活用した Workday のソリューションに、より多くの注目が集まっています。Workday は財務の中核部分にアプローチする財務管理ソリューション、「[Workday ファイナンシャル マネジメント](#)」に大規模な投資を続けています。現在、650 以上の企業や組織が財務業務のクラウド上での管理や、不確実性への対応計画、戦略的優位性を確保するため Workday ファイナンシャル マネジメントを活用しています。

お客様のビジネスの成長と従業員の皆様に大きな価値を提供し続けられるよう、Workday は Workday ファイナンシャル マネジメントをより深く幅広く展開し続けています。Workday ファイナンシャル マネジメントには、今後以下をはじめとする機能の強化や向上が実装される予定です。

- **インテリジェント機能の向上**: Workday はこれからも、AI (人工知能) のサブセットとしてお客様に大きな事業価値をもたらす機械学習への投資を続けていきます。例えば Workday ファイナンシャル マネジメントの会計調整機能は、会計上の問題が発生した時点で会計担当者が問題の検出と修正を行えるようにする機能です。さらに Workday ファイナンシャル マネジメントの異常検知機能を通じ、過去の取引に基づき不正確と思われる活動を財務管理者に知らせることも可能です。
- **分析と洞察能力の向上**: Workday の財務分析能力は向上し続けており、お客様が事業上のより優れた意思決定につなげられるような、複数データソースの管理能力を高めています。例えば保険会社は「[Workday プリズム アナリティクス](#)」で請求データなどの営業上の取引をシステム上で読み込むことで、詳細な報告および分析が得られます。また、「[Workday Accounting Center](#)」を介して取引の会計項目を作成することも可能です。さらに財務担当者は Workday の「[Augmented Analytics](#)」を活用して、「収益の伸びにつながっている要因は何か」、「粗利益が予想を下回っているのはなぜか」といった疑問への回答を得ることができます。Augmented Analytics はこうした動向の根本的な原因を明らかにし、組織に最も大きな影響を与えるであろう財務指標を予測できるシステムとなっています。

¹ Gartner “Magic Quadrant for Cloud Core Financial Management Suites for Midsize, Large, and Global Enterprises,” by John Van Decker | Robert Anderson | Greg Leiter, 13 May 2019.

- **より直感的なユーザーエクスペリエンス**: Workday はお客様が日常で使用している作業空間上でタスクを容易に完了できる方向にユーザーエクスペリエンスを拡張しています。例えば財務担当幹部は Workday Assistant を使うことで、企業における支出の急増をはじめとする財務状況の変化など、事業に関する重要な見識をチャットボットから受け取ることができます。さらに Slack や Microsoft Teams 上で、従業員が自分のモバイルデバイスで領収書を撮影して Workday に経費として提出するといったタスクを完了することも可能です。
- **事業計画の支援機能の向上**: 単一システムとしてお客様の計画、実行、分析をさらに支援していくため、Workday は事業計画ソリューション大手の [Adaptive Insights を買収](#)しました。Adaptive Insights の「ビジネス計画クラウド」を活用することで、財務チームは支出、収益、受注額、雇用者数といった事業の重要分野を正確にモデル化できます。財務と業務の計画をまとめることで、財務担当者や事業担当者が企業業績の監視と管理に関する一貫した包括的なモデルを利用できるようになります。

関係者のコメント

Workday ファイナンシャル マネジメントのゼネラル・マネージャーであるバーバラ・ラーソン (Barbara Larson) は次のように述べています。「Workday がガートナー社に 3 年連続でクラウドコア財務管理スイート部門におけるリーダーとして選ばれたのは、Workday が製品のイノベーションに力を注ぎ、世界中のお客様のニーズに応える新機能への投資を拡大した結果です。ますますダイナミックに、グローバルに変化し続けるビジネス環境において、テクノロジーの力で成長を促進しリスクを軽減できることに疑いの余地はありません。そうした背景を受けて財務分野でデジタル化を進める組織が増えており、将来に備えて事業を推進するために必要な経験と知識を Workday と提携して提供する財務チームが増えていきます」

追加情報

- 詳細は Workday のブログ (英文) をご覧ください。
[「Workday、ガートナー社マジック・クアドラントの中堅・大企業、グローバル企業向けクラウドコア財務管理スイート部門でリーダーに位置づけられる」](#) by Barbara Larson, general manager, Workday Financial Management.

免責条項

ガートナー社は、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価またはその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

Workday, Inc. (米国ワークデイ) について

[米国ワークデイ](#) はクラウド型 **財務・人事** 用エンタープライズ アプリケーションプロバイダです。2005 年に設立された米国ワークデイは、世界最大規模の企業、教育機関、官公庁などの組織で使用されることを念頭に設計されたヒューマンキャピタルマネジメント (HCM)、ファイナンシャルマネジメント、および分析用アプリケーションを提供しており、中規模企業からフォーチュン 50 社にランクインする大企業まで幅広い組織が導入しています。
米国ワークデイ (英語): <http://www.workday.com/>
ワークデイ (日本語): <http://www.workday.com/jp/>

© 2019. Workday, Inc. All rights reserved. Workday と Workday のロゴは、Workday, Inc. の登録商標です。その他のブランド名および製品名は、いずれも商標または登録商標の所有者に帰属します。

将来の見通しに関する記述について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。とりわけ、予測された業績、業界での位置付け、製品、イノベーションやお客様の成功事例に関する記述もこれに該当します。「信じる」、「可能性がある」、「つもりである」、「予定している」、「期待する」、「予想する」などの文言や同様の表現は、将来見通しに関する記述を示しています。これらの将来見通しに関する記述は、リスク、不確定要素、仮定的見通しの対象となります。リスクが実際に発生した場合、また予測が誤りであると証明された場合、将来見通しに関する記述で黙示的に示された業績は、Workday の実際の業績と著しく異なる可能性があります。リスクには、これに限りませ

んが、2019年1月31日を末日とする Form 10-K(年次報告書)および今後適宜提出する報告書をはじめとする、米国証券取引委員会(SEC)への提出書類に記載されたリスクが含まれており、実際の業績が予測と異なる場合があります。Workday は本リリースを公表した後、そのような将来見通しに関する記述の更新する義務を負いません。また現在更新する意図もありません。

本書類、また Workday のウェブサイトやプレスリリース、パブリックステートメントに記載された、未リリースで現在利用不可能なサービス、特徴、機能、向上についての説明は、今後 Workday により予告無く変更される可能性があり、計画どおりに提供されない、または提供されない場合があります。Workday のサービス購入を検討されるお客様は、現在利用可能なサービス、特徴、機能に基づいて購入をご判断ください。

© 2019. Workday, Inc. All rights reserved. Workday と Workday のロゴは、Workday, Inc. の登録商標です。